

北海道大学 前期提供科目

中国語演習

(中級：中国の教育事情を学ぶ)

授業概要

本演習では、受講生の聴く・話す・読む・書くの総合的な応用能力の養成を重視し、難しい文法の説明を避け、グループ学習のなかで、受講生の皆さんに中国語学習の面白さを感じさせると現代中国の教育事情を学ばせる。

到達目標

授業では中国の教育制度、教育改革、学校と子どもの現状に関する文章（文章の難易度が中級レベルである）やドキュメンタリー映画を取り上げ、読書、鑑賞、分析とディスカッションを通して、受講者に次の3点に到達させる。

- ① 中国語で書かれた文章を読み、内容を正しく理解することができる。
- ② 現代中国における学校教育の実態を把握する。
- ③ 現状の背後に隠されている教育課題を見つける。

成績評価

授業回数の8割以上の出席を成績評価の条件とする。授業への参加態度（50%、授業への取り組み・グループ活動の積極性・発表内容等を含む平常点）、レポート（50%）を目安に評価する。最終的な評価（「A+」から「F」までの11段階）においては、成績に極端な偏りがないよう十分配慮する。

張 揚

北海道大学 教育学研究院
教育学部門 教育基礎論分野
助教

授業計画

全15回で実施する。

- 第1回 ガイダンス、学生による自己紹介（中国語）、グループ活動
- 第2回 中国の教育制度・概説（講義、ディスカッション次週の授業で用いる中国語文章のプリント1～2ページを配する）
- 第3～5回 まず、課題文の朗読を順次指名して進めていく。次に、担当教員による難点についての解説を行う。最後に、受講者同士でグループを作り、内容理解の確認と疑問点の解消、そして内容に関する意見交換、議論を行う（教員が適宜指導／解説を行う）。
- 第6～8回 まず、中国の教育事情に関する映画等を鑑賞する。次に、受講者同士でグループを作り、内容理解の確認と疑問点の解消、そして内容に関する意見交換、議論を行う（教員が適宜指導／解説を行う）。最後に、意見をまとめて発表する。
- 第9～11回 まず、課題文の朗読を順次指名して進めていく。次に、担当教員による難点についての解説を行う。最後に、受講者同士でグループを作り、内容理解の確認と疑問点の解消、そして内容に関する意見交換、議論を行う（教員が適宜指導／解説を行う）。
- 第12～14回 まず、中国の教育事情に関する映画等を鑑賞する。次に、受講者同士でグループを作り、内容理解の確認と疑問点の解消、そして内容に関する意見交換、議論を行う（教員が適宜指導／解説を行う）。最後に、意見をまとめて発表する。
- 第15回 まとめと学習の振り返り（最終レポート作成にむけて、各自の構想について交流を行い、執筆方針を確定させる）

注：受講生皆さんの実際の語学力に応じて、授業内容を変える可能性がある。テキストを購入する必要がない。